

臨床研究「鼻副鼻腔乳頭腫の術前後検査・手術治療の検討」について

乳頭腫は鼻副鼻腔に発生する良性腫瘍の中でも頻度の高い腫瘍で、その中でも内反性と円柱上皮性乳頭腫は再発や稀に悪性腫瘍の合併もみられるという特徴が知られています。難治性鼻副鼻腔腫瘍として術前後の検査や手術方法が現在、検討されております。今回、鼻副鼻腔乳頭腫で手術を施行された方の術前後検査や手術方法、術後成績など診療録を参照し後方視的に検討させていただきます。

そのため2009年以降に当院で鼻副鼻腔疾患に対して手術をされた患者様を対象に、診療情報を診療録（カルテ）に基づき調査させていただきます。

この調査では、診療情報を個人が特定できないように、匿名化して、集計・解析することとし、患者様の個人情報には厳重に保護するとともに、取り扱いには十分留意しています。またこの調査にて得られた情報は研究目的以外には使用いたしません。

対象に該当される患者様でこの調査にご自身の診療情報の使用を希望されない方や、疑問のある方は耳鼻咽喉科・頭頸部外科 部長 牧原 靖一郎（まきはら せいいちろう）までご連絡ください。ご連絡が無い場合には、貴重な診療情報を本研究に活用させていただきます。

治療・経験した症例を解析する事によって得られた知識が医学・医療の進歩に役立つよう、ご理解とご協力いただけますようお願い申し上げます。

《研究対象》

鼻副鼻腔乳頭腫にて香川労災病院で手術加療を受けられた患者様

《研究期間》

臨床研究審査会承認後から2021年3月末まで

《研究代表者・連絡先》

香川労災病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 部長 牧原 靖一郎

〒763-0013 香川県丸亀市城東町3丁目3-1

電話 0877-23-3111